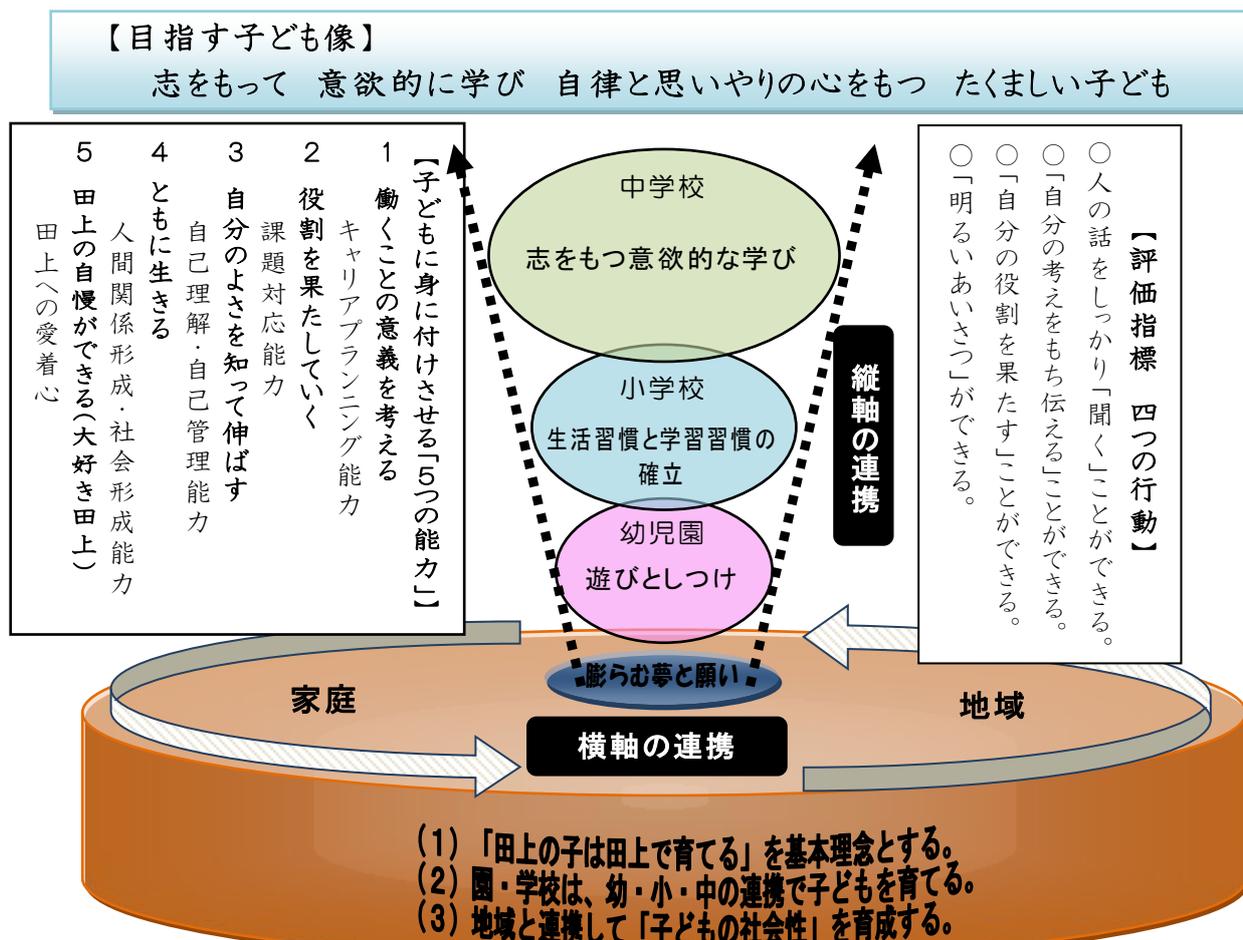


I 「田上の12か年教育」推進構想

平成22年4月、竹の友幼児園開園を機に、幼児園、小学校、中学校をつなぎ、家庭、学校、地域をつなぐ「田上の12か年教育」を構想しました。幼、小、中の連携を縦軸に、家庭、学校、地域の連携を横軸にして、子どもの生活と学習の連続性を活かした「田上の子は田上で育てる」仕組の構想です。

【田上の12か年教育の理念と構想】



子どもは「家庭で育ち」、「学校で学び」、「社会へ羽ばたく」

田上の子どもに身に付けさせる「5つの能力」は、連携を通して育む社会性であり、郷土愛を軸としたキャリア形成に必要な能力と態度です。子どもが自分の力で生き方を選択できるように、学校と家庭、地域が一体となって育むべき能力と資質です。「あんな人になりたい」「このことを学びたい」と願い、その自己実現に向かって自分らしく生きていく子ども像と言えます。幼・小・中の縦軸連携による園学校の教育力向上と家庭・学校・地域の横軸連携による町の協働力向上が、子どもの「5つの能力」を育みます。

「5つの能力」の定着状況の直接評価は困難です。そこで、幼・小・中で連続して評価可能な「人の話をしっかり聞くことができる」「自分の考えをもち伝えることができる」「自分の役割を果たすことができる」「明るい挨拶ができる」の4つの行動を評価指標にして「5つの能力」を点検し、指導に活用することにしました。